

第1回 地域における外国人の暮らしの「これまで」と「これから」

2022年12月12日（月） 16:00-18:00

田村 太郎（たむら たろう）氏

一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事

兵庫県生まれ。阪神・淡路大震災で被災した外国人への支援を機に「多文化共生センター」を設立。自治体国際化協会参事などを経て、2007年1月から「ダイバーシティ研究所」代表として人の多様性に配慮のある組織や地域づくりに携わる。自治体や国際交流協会、NPO職員を対象とした「多文化共生マネージャー」の養成にも注力しており、2020年現在で500人を超えるマネージャーが全国でネットワークを形成。復興庁復興推進参与。大阪大学客員准教授等も兼務。共著に「阪神大震災と外国人」「多文化共生キーワード事典」などがある。

ダイバーシティ研究所：<http://diversityjapan.jp>



鈴木 江理子（すずき えりこ）氏

国土館大学 文学部 教授

一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士（社会学）。移住者と連帯する全国ネットワーク副代表理事、多文化共生センター東京理事、かながわ国際交流財団理事等を兼任。移民政策や人口政策、労働政策を研究するかたわら、外国人支援の現場でも活動。主著に『「多文化パワー」社会』（共編著）、『日本で働く非正規滞在者』（単著、平成21年度冲永賞）、『非正規滞在者と在留特別許可』（共編著）、『新版 外国人労働者受け入れを問う』（共著）、『アンダーコロナの移民たち』（編著）、『入管問題とは何か』（共編著）など。

国土館大学：<https://www.kokushikan.ac.jp/>

移住者と連帯する全国ネットワーク：<https://migrants.jp/index.html>

多文化共生センター東京：<https://tabunka.or.jp/> かながわ国際交流財団：<https://www.kifjp.org/>



長谷部 治（はせべ おさむ）氏

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 地域支援部担当課長

岐阜県出身。大学進学を契機に鹿児島へ。大学3年生の1995年1月に発生した阪神・淡路大震災を契機にボランティアとして神戸へ。翌年、社会福祉法人神戸市長田区社会福祉協議会に採用。2007年社会福祉法人神戸市社会福祉協議会に転籍。以降、各種出講を経て現在は神戸市社協地域支援部担当課長。コミュニティーソーシャルワーク、生活支援コーディネーター、こどもの居場所（子ども食堂、学習支援）、災害ボラセンの4領域を主に担当。その他に、認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会理事、特定非営利活動法人FMわいわい理事を務める。

神戸市社会福祉協議会：<https://www.with-kobe.or.jp/>

